

2023年12月21日

英国で新たなごみ焼却発電プラント案件を受注

～ Hitachi Zosen Inova 同国内 19 件目 より強化された燃焼技術を適用 ～

日立造船株式会社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントの設計、建設、保守、運営などを手がける Hitachi Zosen Inova AG (スイス、以下、HZI) は、このほど、英国ウェスト・ミッドランズ Walsall で計画されているごみ焼却発電プラントの EPC (Engineering=設計/Procurement=調達/Construction=建設) を同国の廃棄物処理・エネルギー会社 Encyclis より受注しました。



プラントの完成イメージ ©Weedon Architects

本プラントは、欧州を中心に多くの実績を持つ HZI の技術を生かし、ごみ焼却発電施設としてはより強化された燃焼技術を適用する予定で、従来は英国内の埋立地や英国外に運ばれていた廃棄物を処理します。

また、発電だけでなく、処理後の廃棄物から再利用可能な金属類や灰を資源として回収することができる点が特長で、地域の循環型社会（サーキュラーエコノミー）に貢献してまいります。

英国では、ごみの埋立て処理からの移行が進められており、HZI の英国国内でのごみ焼却発電プラントの受注実績はこれで 19 件目です（※HZI のみで他のグループ会社含まず）。

当社グループは、今後ごみの衛生的処理やクリーンエネルギーの提供を通じ、グローバルな環境保全に貢献してまいります。

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 発注者：Encyclis (英、旧 Covanta Europe)
2. 建設地：英国ウェスト・ミッドランズ Walsall
3. 施設規模：ストーカ式焼却炉（1 炉） 処理能力：約 436,000 トン/年、発電出力：49MW
4. 完成予定：2027 年夏頃

(終)